

▼第2次栃木市観光基本計画 進捗確認表

| 基本目標 1<br>観光資源魅力の向上 |                   | 実施スケジュール                             |                                              |    |    |    |    |    |      | 内部評価                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|---------------------|-------------------|--------------------------------------|----------------------------------------------|----|----|----|----|----|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本施策                |                   | 単位施策                                 | 具体的な方策                                       | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 |      | 内容（取組状況・課題）                                                                                                                                                                         | コメント                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 1                   | 観光資源の機能<br>充実と拠点化 | 観光施設及び資源の<br>データベース化                 | 栃木市観光資源データ<br>ベース<br>「蔵ナビ！」の管理運<br>営         |    |    |    |    |    | 着手   | 令和6年度に「とちぎ歌麿交流館」などを新たに登録した。<br>今後も引き続き情報更新と共に、新規登録も行なっていく。<br>新しい観光資源の発掘と情報収集が課題である。                                                                                                | ・発掘と情報収集は必須<br>・「蔵ナビ！」の情報お知らせの更新頻度をあげる取組。協力隊を活用した情報収集は。<br>・「蔵ナビ！」は見やすいサイトだと思うが、観光情報サイト「TOURISM」との整理が必要ではないか。似たよう<br>なサイトが多いと分かりづらく、「蔵ナビ！」に一元化してはどうか。<br>・引き続きDBの充実と観光客への利便性向上を期待します。<br>・歌麿交流館のオープンは街なかの活性化につながっていると感じる。データベースがどの位利用されているかを<br>知りたい。<br>・課題施策案として ①文化資源(文化財・遺跡など)利活用 ②栃木市ヒストリーブックとの連携強化<br>・コロナ以降、各施設が営業時間・営業日を頻繁に変更する傾向にあります。各部署や協会などと連携して情報を<br>共有して修正等をする瞬間に行う必要があると思います。お客様からの指摘があります。 |
|                     |                   | 観光資源の磨き上げ                            | 地域資源の観光資源と<br>しての活用                          |    |    |    |    |    | 一部着手 | 蔵の街市民ギャラリーや道の駅にしかたにて西方城跡のパネル展<br>示や紹介動画の公開などの企画展を開催し、史跡の関心が高いこ<br>から、栃木市が加入している「栃木県観光プロモーション協議<br>会」において令和7年度から城跡を取り上げることから、市内<br>の城跡を観光資源として活用する事業を企画していく。                         | ・西方城址のパネル・紹介動画をもう少し多くの方に見て欲しいと思いました。<br>・観光資源を磨き上げ、新たな観光客の開拓や城跡などテーマ性のある観光PRはリピーター<br>の獲得にもつながると考えます。<br>・観光客が一人でも散策しやすいように説明の看板などを立てたりして欲しい。<br>・城跡・史跡巡りのスタンプラリーなども作成してみてはどうでしょうか？<br>予算の制限はあると思うが、観光資源として活用するのであれば、西方城跡の登城ルートはもう少し整備した方が<br>いいのではないかと。                                                                                                                                                    |
|                     |                   |                                      | 食とスポーツによる地<br>域活性化及び観光振興<br>計画を核とした取組の<br>実施 |    |    |    |    |    | 着手   | 東武鉄道(株)と沿線市町と協力し、いちごのラッピングを施した<br>「Berry² Happy Train」を運行し、市の食をPRした。市内イベン<br>ト開催時にプロスポーツの体験コーナーを設置し誘客を促した。<br>継続的に協力し開催していくことが課題である。                                                | ・東武鉄道沿線市町との協力は良い<br>・引き続き東武鉄道や当社も栃木市と連携した観光施策の取り組みを推進します。特にJ3に昇格した栃木シティFC<br>の更なる盛り上がりが見られればと思います。<br>・鉄道会社とコラボしたイベントは集客につながっている。今後も開催し市を盛り上げてほしい。<br>・食として「いちご」に追加して「ぶどう」をぶどう団地地域の取組等を参考に資源化を図る                                                                                                                                                                                                            |
|                     |                   | 観光拠点として道の駅<br>やアンテナショップ等<br>の機能充実と活用 | 道の駅等の観光機能の<br>充実化                            |    |    |    |    |    | 一部着手 | 「コエド市場」では、特産品を活かしたコエドパンの開発・販売<br>を行なっている。また、観光パンフレットの設置により、蔵の街<br>周遊の拠点としての機能を向上させている。<br>道の駅では、各種イベントのポスター掲示により周知を図ってい<br>る。<br>今後、広域から観光客の入込を促進するために、スカイツリーア<br>ンテナショップの活用が課題である。 | ・市外者に周知することにより蔵の街を知ってもらおう<br>・各道の駅や直売所の横の連携を図り、統一のイベントを実施し、一体感を出す事で周遊する入込強化。<br>・コエドパンの開発・販売が観光客の増加や地域活性化にどのような影響を与えているか、数値や事例を交えてお<br>示しいただけると説得力が増します。具体的な数値などが示されると実効性が増すと考えます。<br>・コエド市場にはとち介のパンがあり、観光客のお土産にもなるのではないかと。パンコーナーが充実していて良<br>い。<br>・スカイツリーのとち丸ショップのモニターに栃木市の画像を提供して映して頂いております。<br>今後は、季節ごとのイベントの画像なども提供して映してもらおうと良いのかと思います。                                                                 |
| 2                   | 観光資源の掘り<br>起こし    | 市民参加による観光資<br>源の発掘、魅力再構築             | 市民参加による観光資<br>源の掘り起こし                        |    |    |    |    |    | 一部着手 | 各地域のまちづくり実働組織による太平山南山麓の自然を体験で<br>きるSAKURAフェスやかかしとマルシェ、渡良瀬遊水地の歴史や自然<br>を体験できるヨシ焼き見学ツアー等が開催されている。                                                                                     | ・新聞で高評価を読みまして改めてヨシ焼きの強さを知りました。<br>・市民が参加することにより、地元の観光資源がいかに価値のあるものか再確認の場にもなると思いま<br>す。地域振興には不可欠な取り組みとしますので今後も推進ください。<br>・さくらフェス、かかしとマルシェは定着イベントとなった。実行委員会の頑張りが大きい。ヨシ焼きツ<br>アーも市民が頑張っている。                                                                                                                                                                                                                    |
|                     |                   | 市民主体による観光資<br>源を活用した事業展開             | 市民が観光事業に取り<br>組みやすい環境の整備                     |    |    |    |    |    | 着手   | 各地域の実働組織によるイベント(SAKURAフェス、かかしとマルシェ、<br>ヨシ焼き見学ツアー、どんと焼き等)の地域住民主体のイベント(とちぎ<br>蜜の市、うづまの鯉のぼり、うづまの竹あかり等)の後援や施設使用料の<br>減免、イベント運営についての助言などによる支援を行っている。                                     | ・地域住民のイベントの支援はよい<br>・支援の成果を可視化し、イベント同士の連携を強化することで、より持続的で効果的な地域振<br>興につなげることが期待されます。<br>・市に協力する団体へは引き続き支援を行ってほしい。                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 3                   | 体験・交流型<br>観光の促進   | ニューツーリズムの推<br>進                      | ニューツーリズム検討<br>部会の設立                          |    |    |    |    |    | 一部着手 | 令和6年度に市関係課及び市内ゴルフ場で「ゴルフを通じた<br>まちづくり」に関する組織を立ち上げ、パンフレットの掲示<br>や物産品の販売を検討する会議を開催している。                                                                                                | ・ゴルフ場は栃木市の重要な観光資源と考えます。課や係を横断した重層的な取り組みが期待されます。<br>・ゴルフを通じたまちづくりに関する組織立ち上げはプレスリリースを出して、PRしてもよかったのではな<br>い。ゴルフのまちづくりは各方面に多くの波及効果があると思うので、今後も積極的にPRしてほしい。<br>・子供のゴルフ体験イベントなども行ってみたらどうでしょうか、大人だけの参加型だとゴルフの好きな人の集ま<br>りに留まってしまうような気がします。それでも良いのかもかもしれませんが・・・                                                                                                                                                    |
|                     |                   |                                      | ニューツーリズム旅行<br>商品の開発                          |    |    |    |    |    | 未着手  | 令和7年度に栃木市観光協会が旅行業資格登録を予定してい<br>り、今後体験・交流型モニターツアーを開催し、旅行商品開<br>発の推進をしていく。                                                                                                            | ・旅行者はバイヤーを通して新商品の開発を実施している。非日常・異日常を体験できる目玉を発掘。<br>・販売チャネルの多様化はより顧客のニーズに応じた取り組みが可能になると考えます。<br>・市の情報を知りつくしている観光協会の職員がツアーを開催することでより楽しいツアーが企画できそ<br>う。期待。                                                                                                                                                                                                                                                      |
|                     |                   | 滞在時間延長の促進                            | ニューツーリズムイベ<br>ントの開催                          |    |    |    |    |    | 一部着手 | イベント参加後に市内観光へ誘導するため、熱気球係留体験<br>イベント(わたらせ熱気球day)や栃木市・渡良瀬パルン<br>レースを開催している。<br>また、令和7年より栃木シティがJリーグ参入したことから、連携した事業を検討していく。                                                             | ・渡良瀬遊水地と熱気球は希少な観光コンテンツと思います。波及効果を最大化できる取り組みを期待します。栃<br>木シティはJ3に昇格し、今後強力なコンテンツとなりえます。多角的な視点での連携事業が必要と考えます。<br>・栃木シティのホームゲーム開催時は、多くの市外サポーターやアウェイサポーターが訪れると思うので、うまく<br>市内観光へ誘導していく方策を検討する必要がある。<br>・Jリーグで市が盛り上がるよう連携してイベントを実施して欲しい。<br>・スタジアムに応援に行く方を試合前に市内観光ツアー（観光・体験・昼食などを組み合わせた）に参加して頂き<br>スタジアムに送る。試合後は検討が必要だが、チーム主催者側に最寄駅へのシャトルバスを出して頂くなど（ツ<br>アー参加者のみ乗車可能）                                               |
|                     |                   |                                      | 滞在時間延長のための<br>事業者間意見交換会の<br>開催               |    |    |    |    |    | 一部着手 | ゴルフを通じたまちづくり担当部会会議を開催しており、ス<br>ループレー客を市内観光施設に誘導し滞在時間延長に向けた<br>仕組みを作りを検討する。                                                                                                          | ・地域や顧客層のターゲットを明確にし、そのニーズを的確に捉える必要があると考えます。<br>・18ホール回った後で疲れていると思うので、散策よりも森林浴をしながらのバーベキューと<br>ビール、入浴などバス移動して駅送りなどがどうでしょうか。                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 4                   | イベント・まつ<br>りの活用   | イベントによる観光活<br>性化                     | 観光施設での祭り関連<br>イベントの開催                        |    |    |    |    |    | 着手   | 太平山桜まつりやあじさいまつりでは、来場者に記念館の割<br>引券を配布し、太平山の後に蔵の街に寄っていただくための<br>取り組みを実施し、また、各地域の桜まつりでは、ポスター<br>や市ホームページ、会場で一緒にPRし、複数の会場を回っ<br>ていただけるよう誘導した。                                           | ・各地区の桜の案内、咲き具合、蔵の街への誘導等良い<br>・複数の会場を回る楽しみ方を提案した点は優れた施策だと思います。割引券を活用した場合のデータを収集すれば、観光誘導の実効性を数值的<br>に評価できるため、今後の改善にも役立と考えます。<br>・取り組みは良い。割引券を実際に使用しているのか、案内の効果を知りたい。<br>・記念館の割引券があまり活用されていないようです。岡田記念館や塚田歴史伝説館にも毎年2・3組くらいしか来ないと話していました。今<br>は、クレジットやJAFなどのカードを提示すると割引などが受けられるのが当たり前になっています。それを上回る何かしなないとあまり意味<br>が無いようにも思います。                                                                                 |
|                     |                   | 特色あるイベントの開<br>催                      | テーマ性のあるイベン<br>トの開催                           |    |    |    |    |    | 着手   | 栃木市が誇る江戸型人形山車や、スカイスポーツが盛んな渡<br>良瀬遊水地ならではの熱気球、さらには、桜やあじさい、ハ<br>スなどの花まつり、高校生バンドの選手権を行う「なつこ<br>い」など、各種テーマに合わせたイベントを開催した。                                                               | ・「なつこい」など若者をターゲットとした施策は重要なポイントと考えます。市内の高校など<br>との連携をさらに強化できると良いと思います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|                     |                   | 既存イベントの見直し                           | 複数イベントの合同開<br>催等の検討                          |    |    |    |    |    | 着手   | なつこい実行委員会の主要メンバーである大平町商工会青年部が開催し<br>ていた「とちぎ盆祭り」について、「なつこい」と同会場で近い時期に<br>開催しており、活用できる備品があること、また、構成メンバーのノウ<br>ハウが充実していることを鑑み、同時開催とした。                                                 | ・備品などの流用・共有によるコスト削減や効率的な運用は素晴らしい取り組みと思います。<br>・同時開催したのは良かったのではないかと？                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|                     |                   |                                      | イベント主催者間の連<br>携体制の構築                         |    |    |    |    |    | 着手   | 「蔵の街サマーフェスタ」について、「鎮魂線香火火と灯ろう流<br>し」を主催する栃木商工会議所や、「みつわキッチンカー通り」<br>を主催するミツワ通り共栄会と調整し、同時開催イベントとし<br>て、周知の協力や、当日の運営における協力体制の構築を図り、<br>実施した。                                            | ・同時開催イベント団体の協力は良い<br>・異なるイベントを連携させることで、集客力や運営効率を向上させる優れた取り組みと考えます。今後は、イベ<br>ント間の回遊性をさらに高め、来場者のデータ分析を行いながら、持続的なイベント運営の仕組みを整えていくこ<br>とが重要と考えます。<br>・線香火火とみつわキッチンカー通りは、サマーフェスタの日で開催と定着してきているのではないかと？                                                                                                                                                                                                           |
|                     |                   | 安全に考慮したイベン<br>トの開催                   | 安心安全なイベントの<br>開催                             |    |    |    |    |    | 着手   | 急な体調不良者への対応として、市の保健師に協力いただき、特<br>に夏のイベントにおける熱中症等に、速やかに対応できる環境を<br>整えた。また、緊急時の連絡体制を整備し、けが人が出た際には<br>即座に消防へ連絡し、救急車を手配し、対応した。                                                          | ・体調不良・けがについて速やかな対応は必要ですね。<br>・イベントの安全管理における基本的かつ重要な要素をしっかりと抑えたもので、参加者の安心<br>感を高めるために不可欠な対応です。今後は、予防的な措置やスタッフの訓練の充実化を進める<br>ことで、さらに安全で快適なイベント運営が可能になると考えます。                                                                                                                                                                                                                                                  |